

日教組「2025 年 学校現場の働き方改革に関する意識調査」

調査結果の報告書のポイント

1. 調査の目的

2025 年度の学校現場実態について、2018 年からの経年比較をおこない社会に発信する。あわせて、文科省・教育委員会との交渉・協議に活用し、「実感できる働き方改革」につなげる。

今回の調査では、改正給特法施行を受け、勤務時間の縮減にむけて精確な勤務記録が重要となることから、継続して行っている実際に取れた休憩時間に加え、現場実態の把握のため、新たに、在校等時間に含まれる校外での活動時間などが勤務時間記録に反映されているか、持ち帰り仕事の内容と持ち帰る理由、勤務時間の過少報告について質問した。

2. 調査方法 Web 調査

3. 時期 1 学期における通常の 1 週間について調査

調査期間：25 年 9 月 1 日～10 月 15 日

※2018 年、2019 年、2021 年、2024 年調査は 7～9 月、2020 年、2022 年と今回は 9～10 月に調査を実施

4. 調査対象者 全国の公立学校教職員

5. 回答者数 17,683 人

6. 調査結果の報告書【2025 年のポイント】

【考 察】 ※ページは報告書

第1章 教員の労働時間の実態 P.9～

- 1週間の労働時間は調査開始から初めて60時間を下回り、59時間44分となった。
- しかし、法定労働時間を19時間44分上回っており、単純に月4週として換算すると法定労働時間を超える時間外労働時間数は78時間56分となる。
- また、所定労働時間を20時間59分上回っており、同様に月4週として換算すると、所定労働時間を超える時間外労働時間数は83時間56分である。
- 勤務日（月～金）の在校等時間は平均10時間17分で、調査を開始した2018年以降、最も短くなったが1日の所定労働時間7時間45分を2時間32分上回っており、勤務日だけでも月45時間の上限時間を超えている。
- 週休日の在校等時間は中学校・高等学校で高く、小学校でも4人に1人が週休日に仕事をしている。
- 持ち帰って仕事をしている人は57.6%、内容は89.9%が授業準備となっている（複数回答）。持ち帰る理由は「仕事が終わらないから」が83.8%。
- 在校等時間に含まれるべき業務の、「学校外での活動の時間」を記録に含めている人は40.1%、含めていない人が58.9%。「週休日等に勤務した時間」について実態通りに記録している人は56.9%、実態通りには記録していない人が42.4%となった。
- 実際にとれた休憩時間の長さは、休憩時間が明示・確認されていてもほぼ差がなく、明示・確認があっても休憩時間が取れない実態。休憩時間を付与しないことは法令違反である。

第2章 36協定の締結状況 P.29～

- 36協定未締結での時間外・休日勤務や締結時間を超えて勤務している実態は明らかな労基法違反である。

第3章 教職員の勤務の把握状況 P.33～

- 管理職による客観的勤務時間管理について、38.4%が「休日の勤務について把握されていない」、31.7%が「自身の勤務時間を確認できない」、8.3%が「自身の勤務時間と違った時間が勤務記録とされている」と回答している。
- 勤務時間を「いつも短く記録している」6.9%、「短く記録したことがある」26.3%
理由は、「管理職に指摘される」36.0%、「医師と面談するのが面倒だから」36.9%。運動部活動顧問では43.7%となっている。
10～20代の若年層37.1%が「職場の他の人も短く記録している」と回答しており、短く記録することが常態化していることが懸念される。
- 3割もの人が勤務時間を過少に報告する実態は、労務管理者である管理職・教委による勤務管理が徹底されていない結果であり、労基法下であれば勤務時間が賃金に反映されることから労働者は過少報告をせず、使用者は超勤抑制のため勤務時間管理を徹底する、その機能が学校現場では働いていないことが要因と考えられる。

まとめ

26年4月の改正給特法等の施行により、教育委員会が業務管理・健康確保措置実施計画を策定・実施することとなる。今回の調査結果からは、休憩時間が明示・確認されていても取得できない、学校外での活動や週休日等の活動が在校等時間に含まれていない、常態化している仕事の持ち帰りについては、「仕事が終わらないから」持ち帰りをせざるを得ないなどの実態が明らかとなった。また、36協定未締結や締結違反、休憩時間を適正に取得させていないなどの労基法違反も明確化された。

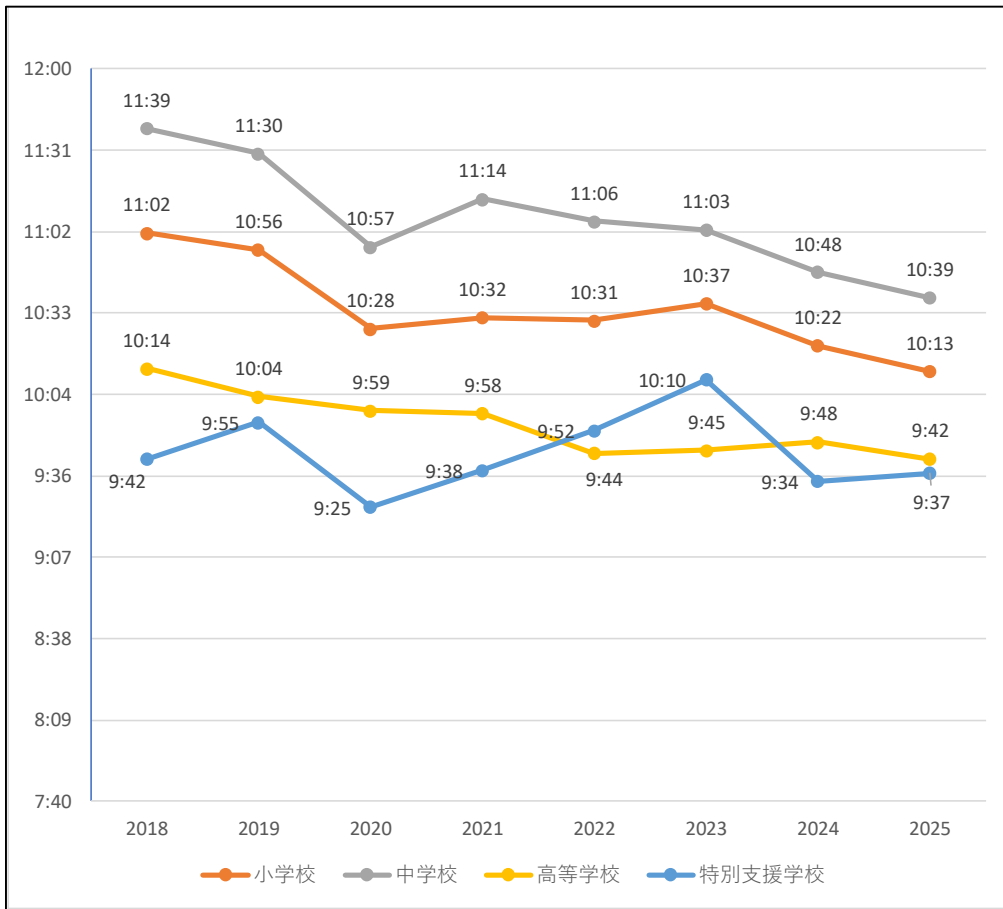
今後すすめられる学校の働き方改革では、5年後に時間外在校等時間を月30時間まで縮減するとしている。今回の調査結果で明白になった学校現場の杜撰な勤務時間管理の実態をふまえば、文科省・教育委員会は持ち帰り時間も含めた精確な勤務時間記録を行うことは最低条件である。その上で、その結果をもとに確実に働き方改革をすすめ、学校をだれもが働きやすい持続可能な職場へと変えていかなければならない。

第1章 教員の労働時間の実態 P.9~

1. 教員の労働時間

(1) 勤務日における1日の労働時間

①教員の勤務日(月~金)における在校等時間 P.9

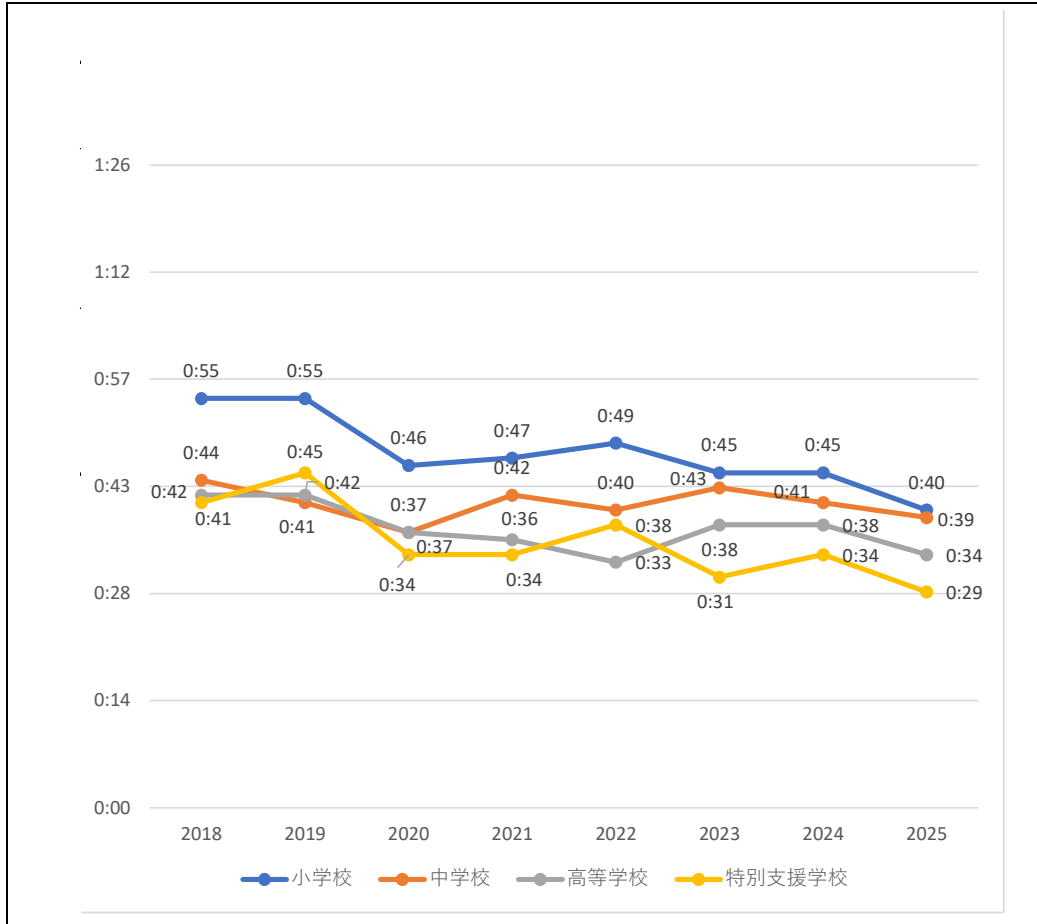


【勤務日の在校等時間の変化】 ☆ 縮減傾向

| | 平均 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 特別支援学校 |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 2018 | 11 : 07 | 11 : 02 | 11 : 39 | 10 : 14 | 9 : 42 |
| 2025 | 10 : 17 | 10 : 13 | 10 : 39 | 9 : 42 | 9 : 37 |
| 増減 | ↓ 0 : 50 | ↓ 0 : 49 | ↓ 1 : 00 | ↓ 0 : 32 | ↓ 0 : 05 |

- 平均の在校等時間は10時間17分で2018年の調査開始以降、最も短くなったが、1日の所定労働時間を2時間32分上回り、月20日で換算すると月45時間の上限時間を超える。

②自宅での仕事時間（1日平均） P.11～



【勤務日の自宅での仕事時間の変化】

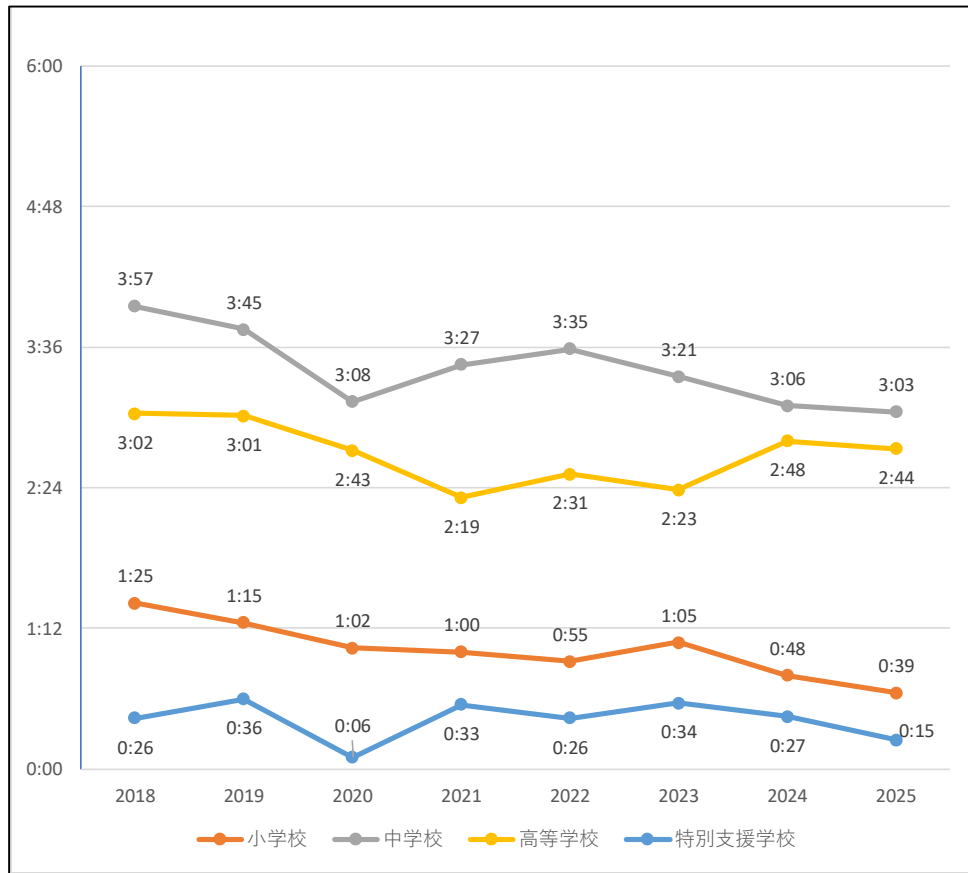
| | 平均 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 特別支援学校 |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 2018 | 0 : 51 | 0 : 55 | 0 : 44 | 0 : 42 | 0 : 41 |
| 2025 | 0 : 39 | 0 : 40 | 0 : 39 | 0 : 34 | 0 : 29 |
| 増減 | ↓ 0 : 12 | ↓ 0 : 15 | ↓ 0 : 05 | ↓ 0 : 08 | ↓ 0 : 12 |

○ 「0時間」は41.9%と2018年以降増加しているが、小学校では60.4%、中学校では54.9%の人が「自宅で仕事」をしている。

※持ち帰り仕事の内容と理由については第1章4. 報告書 P.22 /ポイント（本冊） P.9も合わせて参照

(2) 週休日における1日平均の労働時間

① 在校等時間 P.13～

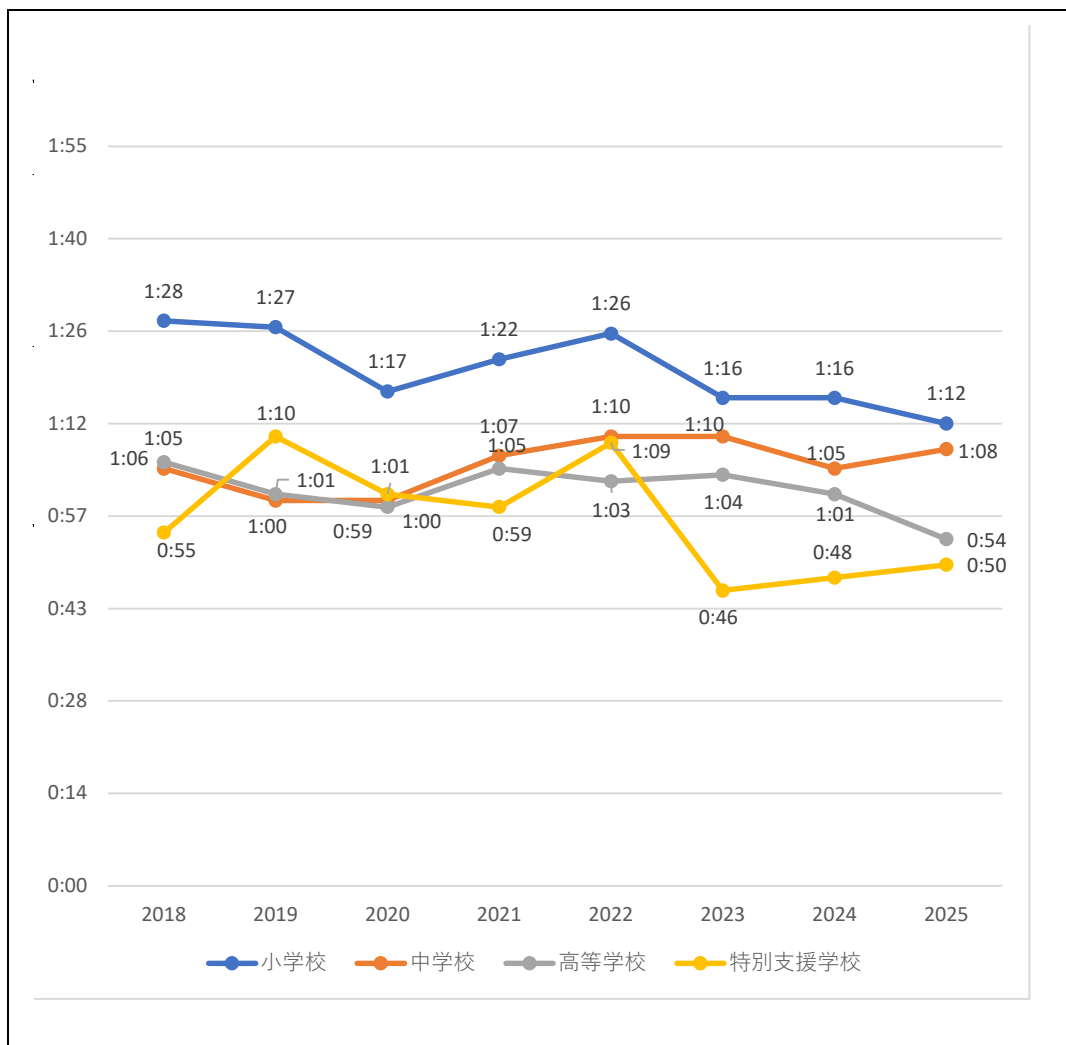


【休日の在校等時間の変化】

| | 平均 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 特別支援学校 |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 2018 | 2 : 10 | 1 : 25 | 3 : 57 | 3 : 02 | 0 : 26 |
| 2025 | 1 : 22 | 0 : 39 | 3 : 03 | 2 : 44 | 0 : 15 |
| 増減 | ↓ 0 : 48 | ↓ 0 : 47 | ↓ 0 : 54 | ↓ 0 : 18 | ↓ 0 : 11 |

- 「0時間」が59.7%だが、「勤務した人」は中学校で75%、高等学校で66%と高く、小学校でも25%と4人に1人が週休日に勤務している。

②自宅での仕事時間 P.15～



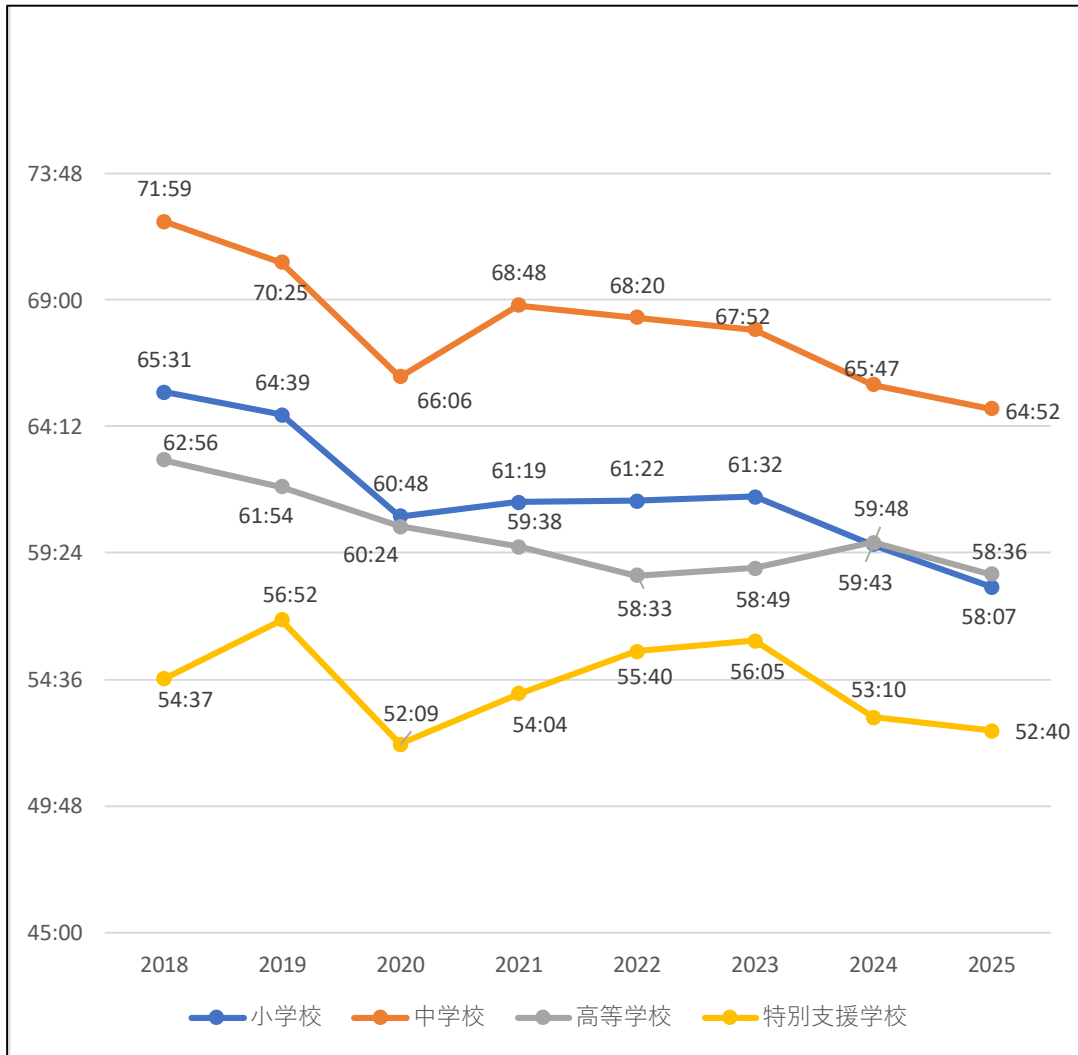
【休日の自宅業務時間の変化】

| | 平均 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 特別支援学校 |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 2018 | 1 : 19 | 1 : 28 | 1 : 05 | 1 : 06 | 0 : 55 |
| 2025 | 1 : 10 | 1 : 12 | 1 : 08 | 0 : 54 | 0 : 50 |
| 増減 | ↓ 0 : 09 | ↓ 0 : 16 | ↑ 0 : 03 | ↓ 0 : 12 | ↓ 0 : 05 |

○「0時間」が41.9%だが、58.1%が自宅で仕事をしている。

※持ち帰り仕事の内容と理由については第1章4. 報告書 P.22 /ポイント (本冊) P.9も合わせて参照

2. 1週間の労働時間 P.17～



【1週間の労働時間（勤務日・週休日、在校等時間・自宅仕事時間）の変化】

| | 平均 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 特別支援学校 |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 2018 | 66 : 48 | 65 : 31 | 71 : 59 | 62 : 56 | 54 : 37 |
| 2025 | 59 : 44 | 58 : 07 | 64 : 52 | 58 : 36 | 52 : 40 |
| 増減 | ↓ 7 : 04 | ↓ 7 : 24 | ↓ 7 : 07 | ↓ 4 : 20 | ↓ 1 : 57 |

- 勤務日と週休日の在校等時間と自宅仕事時間を合計した1週間の労働時間は平均59時間44分で所定労働時間38時間45分を20時間59分上回っている。
- 2018年からの経年では平均で7時間4分短くなり、週の労働時間は60時間を切り、調査開始以降最も短くなった。

| | 勤務日（月～金） （1日平均） | | | 週休日（土・日・祝） （1日平均） | | | 1週間の労働時間計 | | | 1か月の労働時間計 | | |
|----------|--------------------|--------|----------|----------------------|--------|----------|-----------|--------|-------|-----------|--------|--------|
| | 在校等時間 | 自宅仕事時間 | 勤務日の労働時間 | 在校等時間 | 自宅仕事時間 | 週休日の労働時間 | 在校等時間 | 自宅仕事時間 | 労働時間計 | 在校等時間 | 自宅仕事時間 | 労働時間計 |
| 2025年計 | 10:17 | 0:39 | 10:56 | 1:22 | 1:10 | 2:32 | 54:09 | 5:35 | 59:44 | 216:36 | 22:20 | 238:56 |
| (2024年計) | 10:23 | 0:43 | 11:06 | 1:31 | 1:11 | 2:42 | 54:57 | 5:57 | 60:54 | 219:48 | 23:48 | 243:36 |
| (2023年計) | 10:40 | 0:44 | 11:24 | 1:42 | 1:13 | 2:55 | 56:44 | 6:06 | 62:50 | 226:56 | 24:24 | 251:20 |
| (2022年計) | 10:35 | 0:45 | 11:20 | 1:40 | 1:19 | 2:59 | 56:15 | 6:23 | 62:38 | 225:00 | 25:32 | 250:32 |
| (2021年計) | 10:39 | 0:45 | 11:24 | 1:41 | 1:17 | 2:58 | 56:37 | 6:19 | 62:56 | 226:28 | 25:16 | 251:44 |
| (2020年計) | 10:27 | 0:42 | 11:09 | 1:46 | 1:10 | 2:56 | 55:47 | 5:50 | 61:37 | 223:08 | 23:20 | 246:28 |
| (2019年計) | 10:59 | 0:51 | 11:50 | 1:58 | 1:18 | 3:16 | 58:51 | 6:51 | 65:42 | 235:24 | 27:24 | 262:48 |
| (2018年計) | 11:07 | 0:51 | 11:58 | 2:10 | 1:19 | 3:29 | 59:55 | 6:53 | 66:48 | 239:40 | 27:32 | 267:12 |

3. 実際にとれている休憩時間 P.21

| | 0分 | 15分未満 | 15分以上 | 30分以上 | 45分以上 | 46分以上 | 60分以上 | 件数 | 平均値・分 | *45分未満計 | *45分以上計 | |
|--------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------|------|-------|---------|-------------|-------------|
| | 2025年計 | 44.3 | 19.7 | 18.7 | 12.6 | 2.9 | 0.4 | 1.5 | 14974 | 11.1 | 95.3 | 4.7 |
| 2024年計 | <u>37.5</u> | 21.3 | 20.3 | 15.1 | 3.5 | 0.5 | 1.7 | 9685 | 12.9 | 94.2 | 5.8 | |
| 2023年計 | <u>38.7</u> | 21.7 | 18.9 | 14.4 | 3.8 | 0.4 | 2.1 | 4886 | 12.7 | 93.7 | 6.3 | |
| 2022年計 | 40.6 | 21.6 | 18.7 | 13.9 | 3.2 | 0.5 | 1.6 | 7823 | 12.0 | 94.7 | 5.3 | |
| 2021年計 | <u>32.5</u> | 22.5 | 23.6 | 15.8 | 2.9 | 0.5 | 2.1 | 5446 | 13.9 | 94.5 | 5.5 | |
| 学校種 | 小学校 | 48.1 | 21.9 | 17.9 | 9.1 | 2.1 | 0.1 | 0.8 | 9895 | 9.1 | 97.1 | 2.9 |
| | 中学校 | 42.9 | 16.3 | 18.7 | 16.3 | 2.3 | 0.9 | 2.7 | 3869 | 12.7 | 94.2 | 5.8 |
| | 高等学校 | <u>4.7</u> | <u>6.1</u> | <u>25.2</u> | <u>40.7</u> | <u>16.2</u> | 1.9 | 5.3 | 642 | 29.6 | <u>76.6</u> | <u>23.4</u> |
| | 特別支援学校 | <u>33.9</u> | 20.5 | <u>24.0</u> | 13.4 | 7.1 | ... | 1.2 | 254 | 13.9 | 91.7 | 8.3 |
| 部活動の顧問 | 運動部の顧問 | <u>37.8</u> | 14.8 | 18.9 | <u>19.8</u> | 4.1 | 1.2 | 3.4 | 3294 | 15.2 | 91.3 | 8.7 |
| | 文化部の顧問 | <u>38.4</u> | 17.0 | 19.7 | 16.8 | 4.8 | 0.6 | 2.7 | 1031 | 14.3 | 91.9 | 8.1 |
| | 顧問はしていない | 45.0 | 18.9 | 20.0 | 12.2 | 2.9 | 0.1 | 0.9 | 2819 | 10.6 | 96.1 | 3.9 |
| | 学校に部活動なし | 47.5 | 22.5 | 18.0 | 9.1 | 2.1 | 0.1 | 0.7 | 7830 | 9.2 | 97.1 | 2.9 |

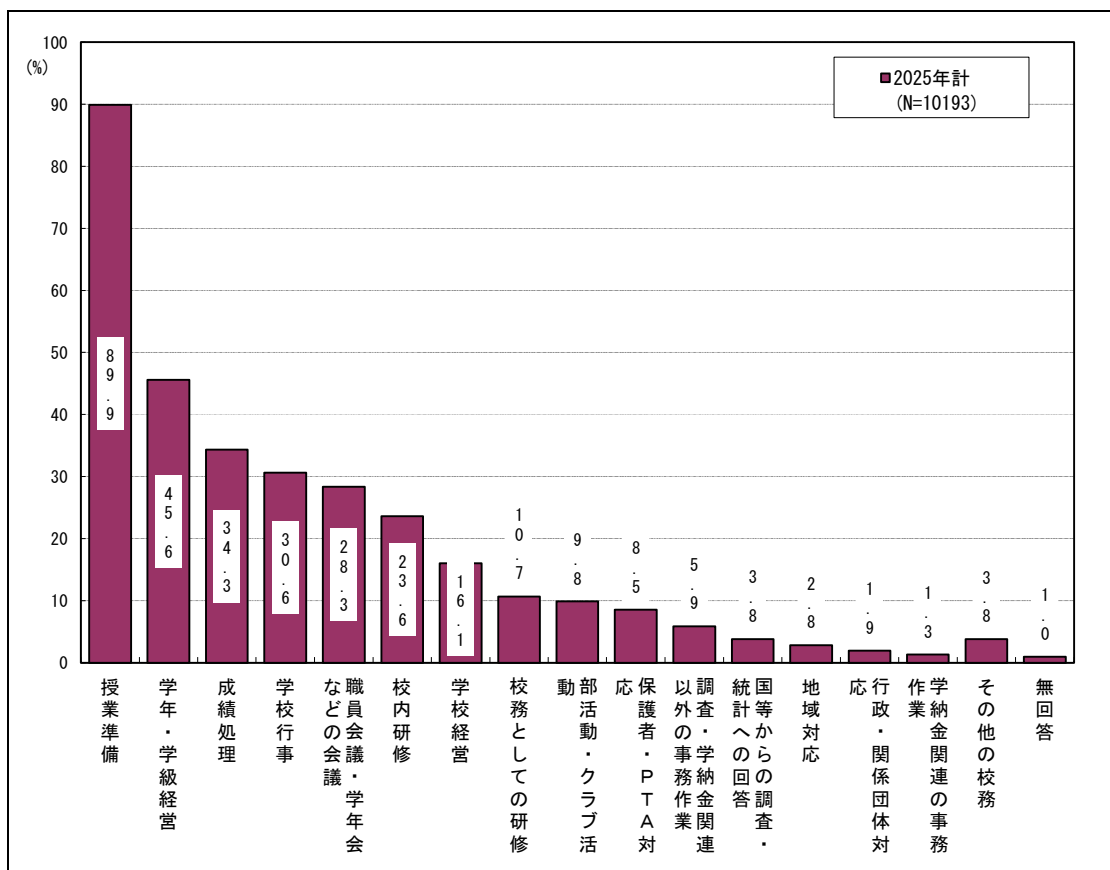
※下線数字は「2025年計」より5ポイント以上少ないことを示す
 ※薄い網かけ数字は「2025年計」より5ポイント以上多いことを示す
 ※濃い網かけ数字は「2025年計」より15ポイント以上多いことを示す
 ※件数30以下なら網掛等非表示

- 「0分」が44.3%、45分未満が95.3%となっている。
- 小学校では「0時間」48.1% 中学校42.9%、特別支援学校33.9%となっている。

※休憩時間の明示と確認は第1章5. 報告書 P.25/ポイント（本冊）P.10も合わせて参照

4. 持ち帰りの仕事

(1) 持ち帰って行った業務内容 P.22～



(2) 仕事をもち帰る理由 P.24

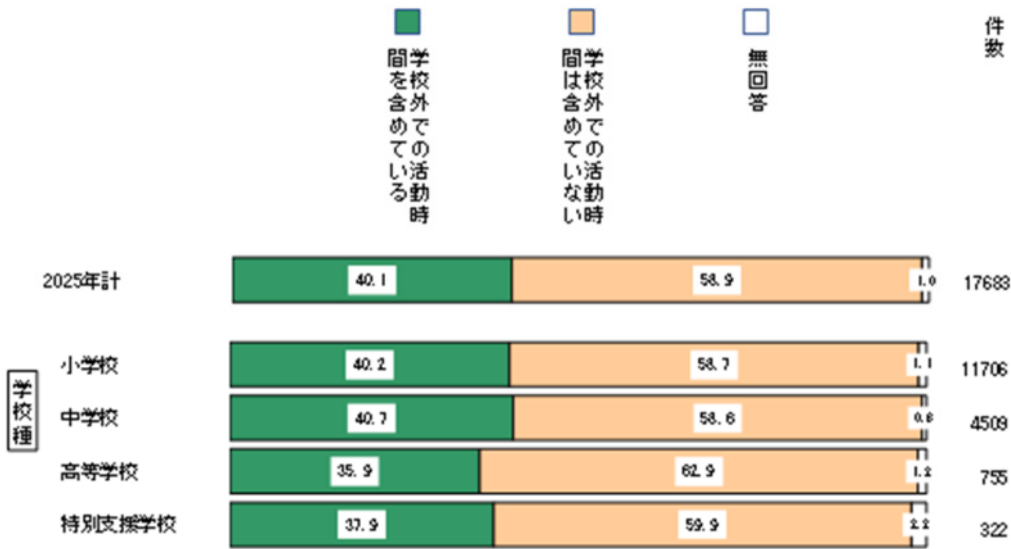
- 持ち帰って仕事をしている人は 57.6%
- 持ち帰った仕事は 9 割近くが授業準備
- 中学校、高等学校では「部活動・クラブ活動」が 3 割を超えている。
- 持ち帰る理由は「仕事が終わらないから」83.8%、「遅くまで学校で仕事ができないから」44.9%。校種に大きな差はない。

| | 仕事が終わらない | 遅くまで学校で仕事ができない | 家庭などの時間が短く集中 | 勤務時間から指摘 | 遅くまでしないよう | その他 | 無回答 | 件数 |
|--------|-----------|------------------|------------------|----------|-----------|------|-----|-------|
| 2025年計 | 83.8 ① | 44.9 ② | 15.2 | 7.6 | 11.3 | 1.9 | 1.2 | 10193 |
| 学校種 | 小学校 | 84.3 ① | 45.5 ② | 14.8 | 7.4 | 10.8 | 1.7 | 7027 |
| | 中学校 | 83.8 ① | 45.0 ② | 16.5 | 8.7 | 12.4 | 1.9 | 2457 |
| | 高等学校 | 79.1 ① | <u>35.8</u> ② | 13.1 | 5.6 | 12.8 | 3.9 | 358 |
| | 特別支援学校 | <u>78.5</u> ① | <u>36.1</u> ② | 12.5 | 8.3 | 14.6 | 4.9 | 144 |
| 学級担任 | 担任をしている | 86.4 ① | 43.4 ② | 15.6 | 7.6 | 11.6 | 1.6 | 7498 |
| | 担任をしていない | <u>78.2</u> ① | 47.9 ② | 14.9 | 8.1 | 10.5 | 2.2 | 2148 |
| 部活動の顧問 | 運動部の顧問 | 83.8 ① | 43.7 ② | 16.8 | 8.1 | 12.3 | 1.8 | 2112 |
| | 文化部の顧問 | 83.7 ① | 44.3 ② | 16.3 | 8.6 | 15.2 | 2.5 | 706 |
| | 顧問はしていない | 80.6 ① | 47.6 ② | 13.7 | 7.2 | 10.2 | 1.8 | 1821 |
| | 学校に部活動なし | 84.8 ① | 44.7 ② | 14.9 | 7.4 | 10.9 | 1.9 | 5554 |

※下線数字は「2025年計」より5ポイント以上少ないことを示す
 ※薄い網かけ数字は「2025年計」より5ポイント以上多いことを示す
 ※丸数字は比率の順位(第2位まで表示)
 ※件数30以下なら網掛等非表示

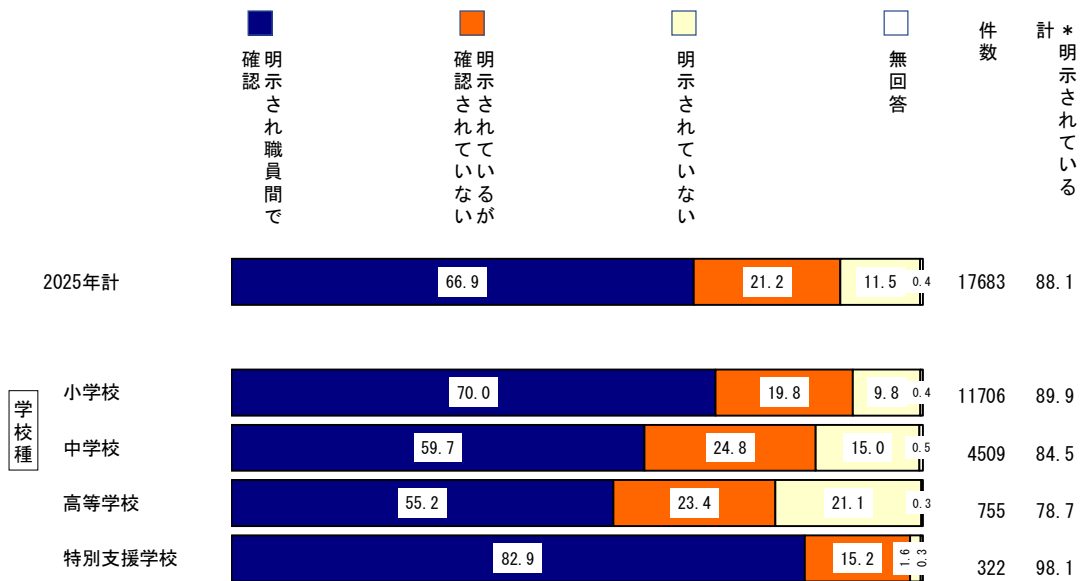
5. 勤務時間の記録と休憩時間の明示

(1) 学校外の活動の記録 P.25



○ 学校外での活動を在校等時間に記録していないのが6割近くとなっている

(2) 休憩時間の明示と職員間での確認 P.26



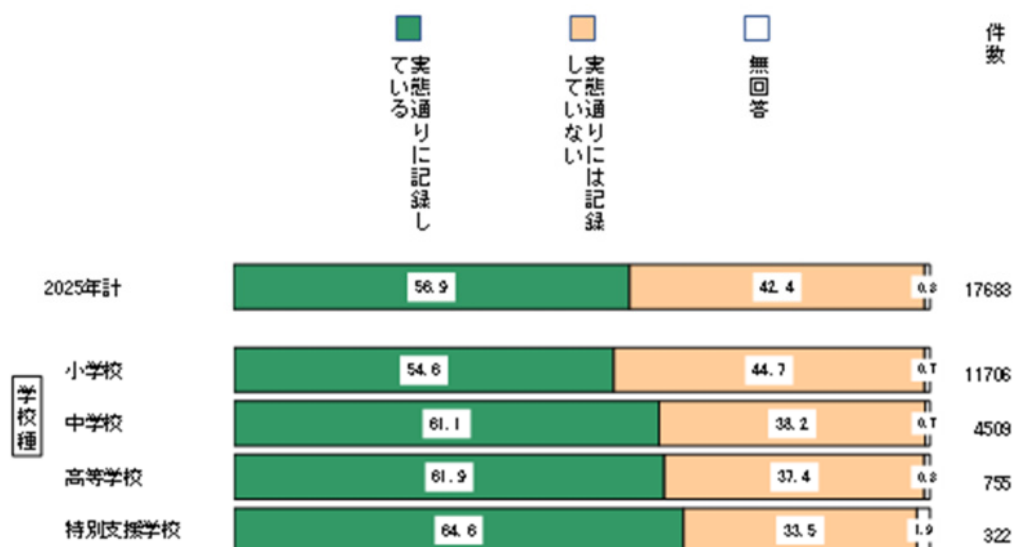
○ 実際にとれた休憩時間と明示・確認の関係 P.27

| | 0分 | 1分5分未満 | 1分5分以上 | 3分0分以上 | 4分5分以上 | 4分6分以上 | 6分0分以上 | 件数 | 平均値・分 | 4分5分未満 | 4分5分以上 | |
|---------|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|--------|------|
| 2025年計 | 44.3 | 19.7 | 18.7 | 12.6 | 2.9 | 0.4 | 1.5 | 14974 | 11.1 | 95.3 | 4.7 | |
| 小学校計 | 48.1 | 21.9 | 17.9 | 9.1 | 2.1 | 0.1 | 0.8 | 9895 | 9.1 | 97.1 | 2.9 | |
| 休憩時間 | 明示され職員間で確認 | 46.6 | 22.2 | 18.4 | 9.4 | 2.5 | 0.1 | 0.8 | 6907 | 9.6 | 96.6 | 3.4 |
| | 明示されているが確認されていない | 50.8 | 22.2 | 16.7 | 8.6 | 1.1 | 0.1 | 0.6 | 1980 | 8.2 | 98.3 | 1.7 |
| | 明示されていない | 52.9 | 19.2 | 17.3 | 8.5 | 1.3 | 0.2 | 0.6 | 990 | 8.2 | 97.9 | 2.1 |
| 中学校計 | 42.9 | 16.3 | 18.7 | 16.3 | 2.3 | 0.9 | 2.7 | 3869 | 12.7 | 94.2 | 5.8 | |
| 休憩時間 | 明示され職員間で確認 | 40.9 | 16.1 | 19.5 | 17.1 | 2.8 | 0.9 | 2.7 | 2301 | 13.3 | 93.6 | 6.4 |
| | 明示されているが確認されていない | 44.9 | 16.4 | 19.2 | 14.4 | 1.2 | 0.9 | 2.9 | 964 | 11.9 | 94.9 | 5.1 |
| | 明示されていない | 47.3 | 16.7 | 14.7 | 16.6 | 1.8 | 0.5 | 2.3 | 598 | 11.6 | 95.3 | 4.7 |
| 高等学校計 | 4.7 | 6.1 | 25.2 | 40.7 | 16.2 | 1.9 | 5.3 | 642 | 29.6 | 76.6 | 23.4 | |
| 休憩時間 | 明示され職員間で確認 | 1.9 | 5.3 | 23.8 | 45.2 | 17.7 | 1.7 | 4.4 | 361 | 31.1 | 76.2 | 23.8 |
| | 明示されているが確認されていない | 6.8 | 6.2 | 30.1 | 37.0 | 14.4 | 0.7 | 4.8 | 146 | 27.5 | 80.1 | 19.9 |
| | 明示されていない | 9.6 | 8.1 | 23.7 | 32.6 | 14.1 | 3.7 | 8.1 | 135 | 28.1 | 74.1 | 25.9 |
| 特別支援学校計 | 33.9 | 20.5 | 24.0 | 13.4 | 7.1 | ... | 1.2 | 254 | 13.9 | 91.7 | 8.3 | |
| 休憩時間 | 明示され職員間で確認 | 31.8 | 21.5 | 23.8 | 13.6 | 7.9 | ... | 1.4 | 214 | 14.4 | 90.7 | 9.3 |
| | 明示されているが確認されていない | 45.7 | 14.3 | 25.7 | 11.4 | 2.9 | ... | ... | 35 | 10.6 | 97.1 | 2.9 |
| | 明示されていない | 50.0 | 25.0 | 25.0 | ... | ... | ... | ... | 4 | 7.5 | 100.0 | ... |

※下線数字は「2025年計」より5ポイント以上少ないことを示す
 ※薄い網かけ数字は「2025年計」より5ポイント以上多いことを示す
 ※濃い網かけ数字は「2025年計」より15ポイント以上多いことを示す
 ※件数30以下なら網掛等非表示

○ 明示され、確認されている人は明示・確認されていない人よりもわずかに長い休憩時間が取れているが、差はほぼなく、明示・確認があっても休憩時間が取れない実態となっている。

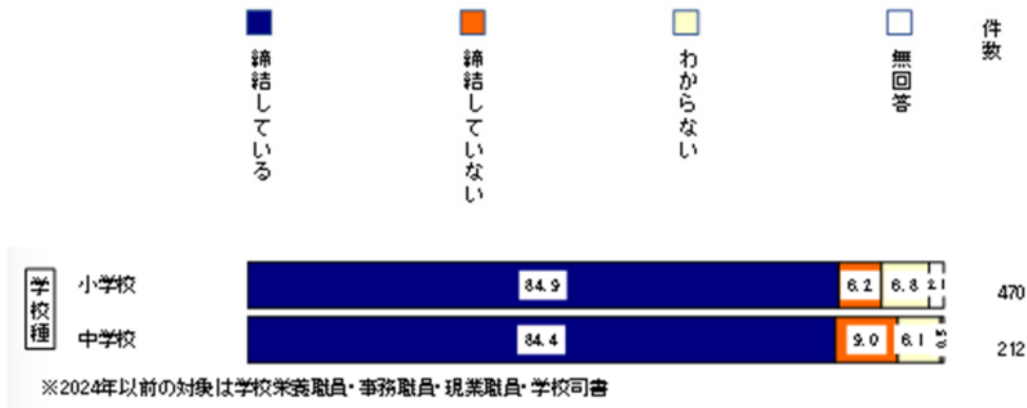
(3) 週休日等の勤務時間の記録 P.28



○ 実際どおり記録していない人が4割前後となっている

第2章 36協定の締結状況 P.29～

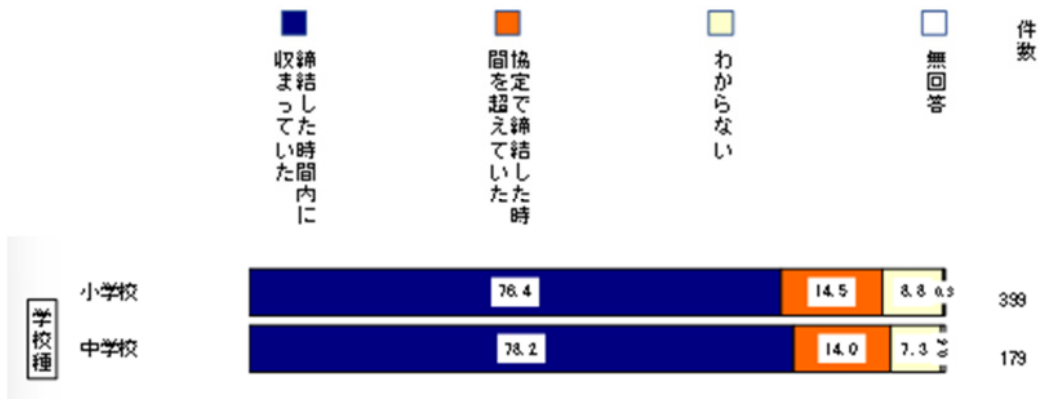
1. 36協定の締結状況



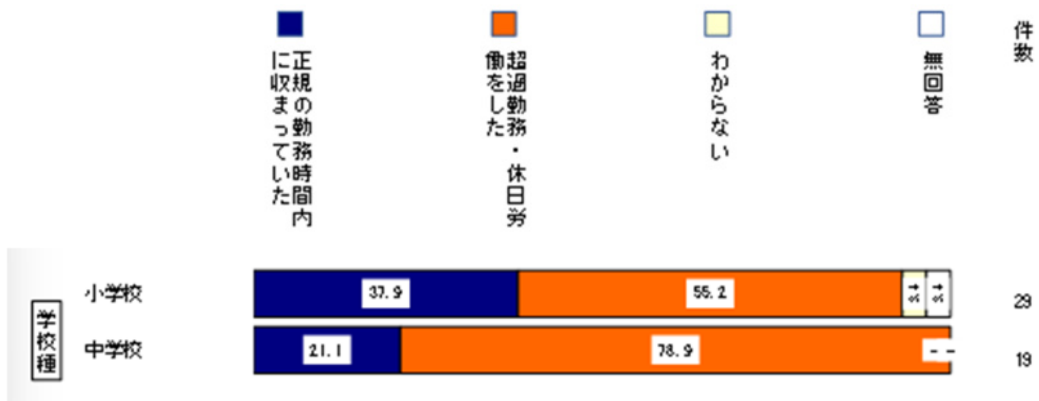
○ 「締結している」83.4% 経年で8割台で推移している。

2. 36協定締結の有無と4月の勤務時間

(1) 36協定を締結している学校に勤務している人の勤務時間 P.30



(2) 36協定未締結の学校で勤務している人の超過勤務・休日労働の有無 P.31

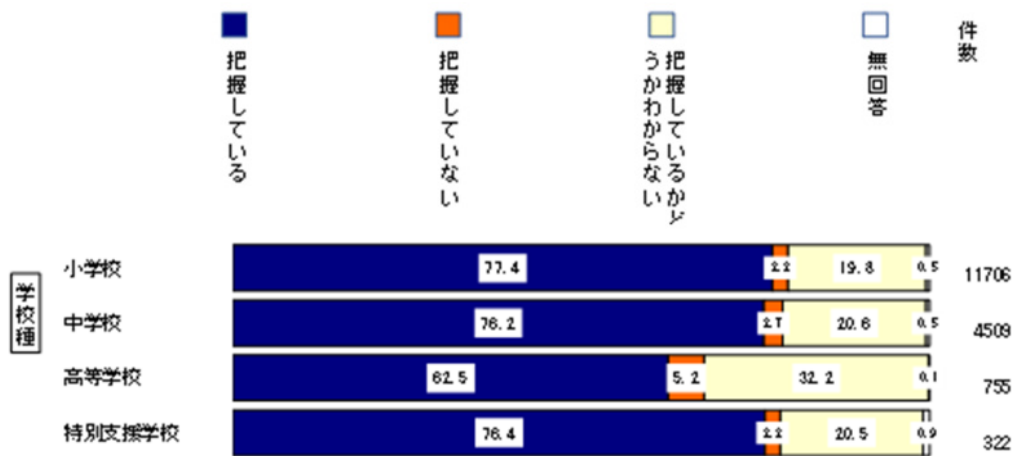


○ 36協定を締結せずに時間外・休日勤務命令を行うことは労働基準法違反であるが、超勤・休日勤務をしている実態。

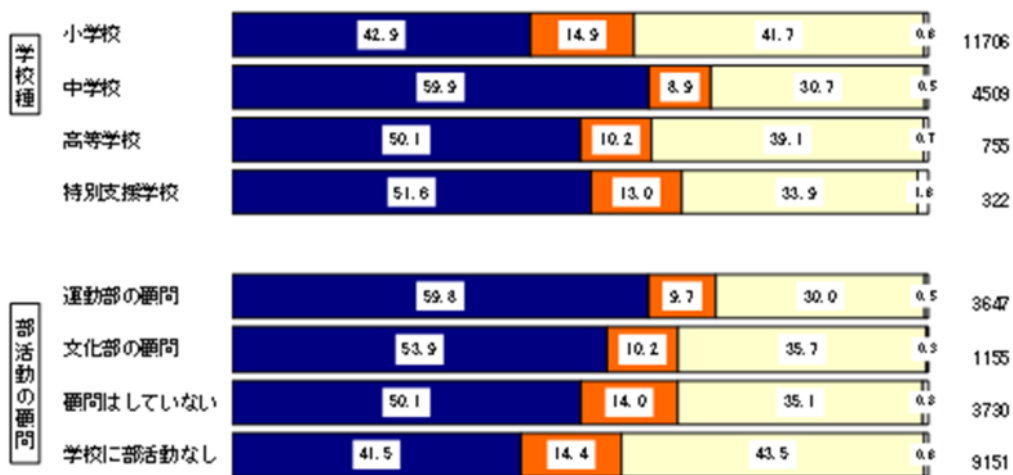
第3章 教職員の勤務の把握状況 P.33～

1. 管理職による教職員の勤務の把握状況

(1) 管理職による教職員の出勤、退勤時刻の把握状況 P.33

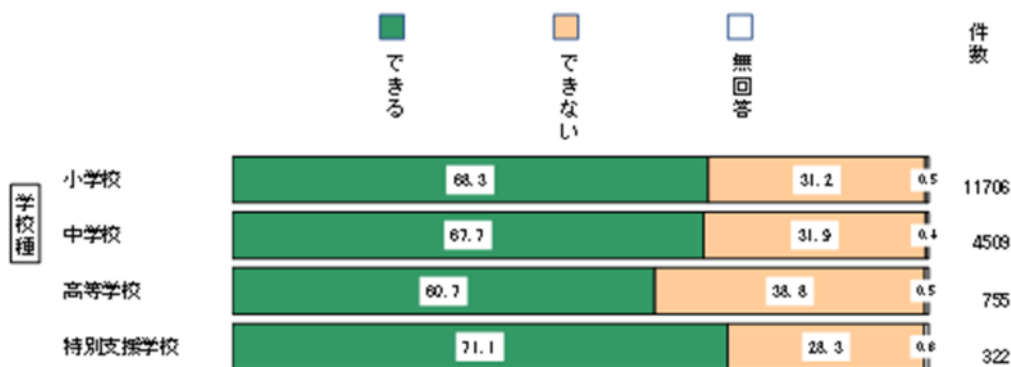


(2) 土・日、祝日における教職員の学校勤務の把握状況 P.34



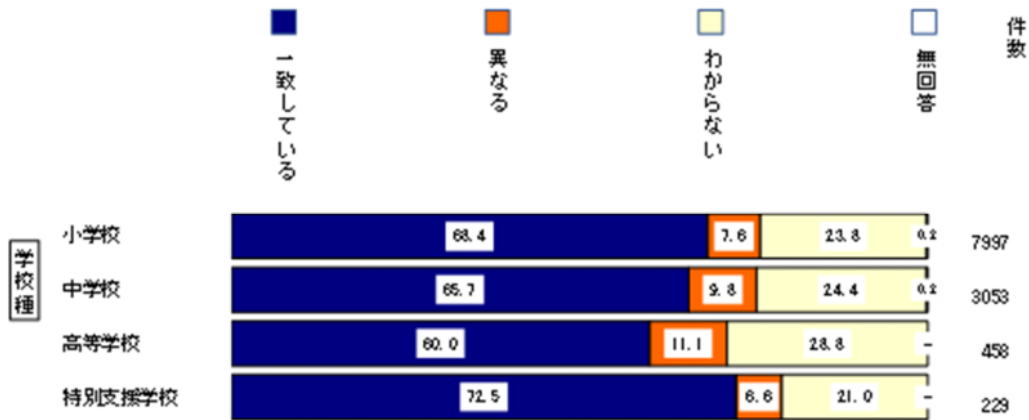
2. 管理職が把握する勤務時間（在校等時間） P.35

自分の勤務時間（在校等時間）が確認できるか

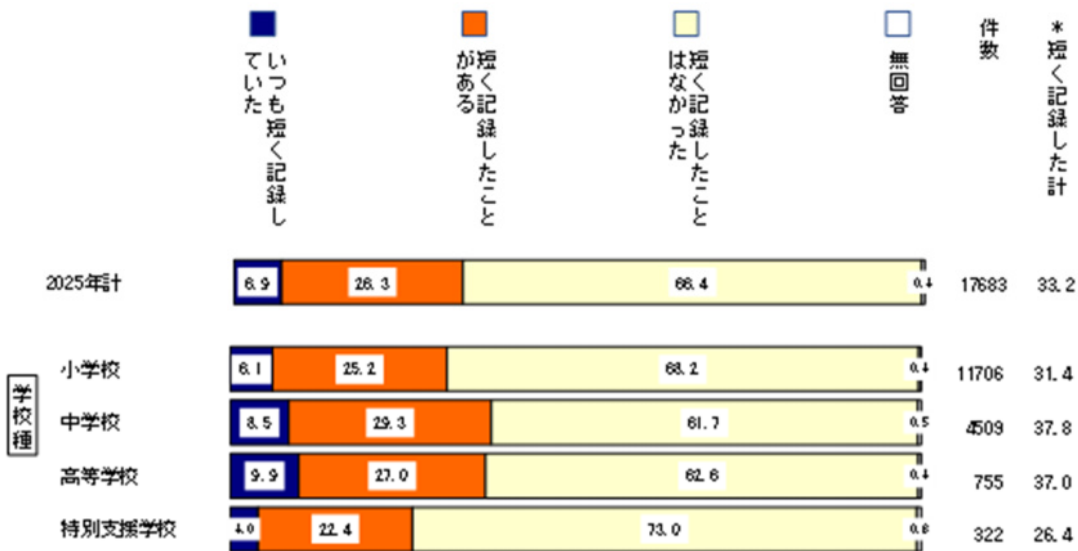


3. 実際の勤務時間と管理職記録の勤務時間 P.36

2. で「確認できる」とした人に管理職による記録と実際の勤務時間が異なるか聞いた。



4. この1年間で勤務時間を短く記録したことの有無 P.37



- 6～7割の人は「短く記録したことはない」、「いつも短く記録している」のは平均6.9%
- 労基法下であれば勤務時間が賃金に反映されることから、自ら短く記録することはありえず、給特法によって勤務時間を意識することなく働いてきた弊害であると言える。

5. 勤務時間を短く記録した理由（複数回答） P.38

- 「管理職に指摘されるから」「医師と面談するのが面倒」が36%程度。
- 「医師との面談が面倒」が高等学校では5割を超えている。
- 10～20代で「他の人も短く記録している」が他の年代に比べ37%と高くなっている。
- 「その他」の理由として、正確な記録を覚えていない、修正することが面倒、記録忘れ、休日に打刻する手段がない、打刻後に仕事が発生する、など。

| | 管理職に指摘される | 面倒医師と面談する | 記録している他の人も短く | その他 | 無回答 | 件数 |
|----------|-----------|-----------|--------------|-----------|-----|------|
| 2025年計 | 36.0 ② | 36.9 ① | 21.6 | 27.7 | 1.2 | 5865 |
| 年齢 | | | | | | |
| 10～20代 | 38.9 ① | 32.4 ② | 37.1 ① | 18.9 ② | 1.0 | 1079 |
| 30代 | 37.4 ② | 44.6 ① | 22.3 | 22.7 | 0.8 | 1655 |
| 40代 | 35.0 ② | 39.1 ① | 16.8 | 30.4 | 1.2 | 1449 |
| 50代 | 35.3 ① | 30.0 | 15.2 | 35.2 ② | 1.3 | 1398 |
| 60代以上 | 24.6 ② | 31.3 ① | 13.7 | 39.4 ① | 3.5 | 284 |
| 学校種 | | | | | | |
| 小学校 | 36.1 ① | 35.5 ② | 22.4 | 27.8 | 1.1 | 3671 |
| 中学校 | 35.4 ② | 38.4 ① | 19.7 | 27.4 | 1.6 | 1704 |
| 高等学校 | 37.3 ② | 51.6 ① | 17.2 | 25.8 | 1.4 | 279 |
| 特別支援学校 | 38.8 ① | 30.6 ② | 16.5 | 36.5 ② | ... | 85 |
| 部活動の顧問 | | | | | | |
| 運動部の顧問 | 38.8 ② | 43.7 ① | 19.3 | 23.2 | 1.4 | 1463 |
| 文化部の顧問 | 32.5 ② | 39.1 ① | 20.0 | 30.8 | 1.7 | 419 |
| 顧問はしていない | 32.0 ② | 29.1 ① | 20.9 | 34.0 ① | 1.2 | 1123 |
| 学校に部活動なし | 36.6 ① | 36.1 ② | 23.2 | 27.0 | 1.0 | 2860 |

① ※下線数字は「2025年計」より5ポイント以上少ないことを示す
 ② ※薄い網かけ数字は「2025年計」より5ポイント以上多いことを示す
 ③ ※濃い網かけ数字は「2025年計」より15ポイント以上多いことを示す
 ④ ※丸数字は比率の順位(第2位まで表示)
 ⑤ ※件数30以下なら網掛等非表示

- 「勤務時間を過少報告する」ことが常態化することがあってはならない。
 管理職による勤務時間管理が徹底されていない証左であり、これこそ給特法による勤務意識の希薄化、そして、時間外勤務を減らすインセンティブが働かない証左でもある。
- 在校等時間に含まれる時間を勤務時間に正しく反映すること、労基法で保障する休憩時間、36協定遵守の徹底をはかること、やらざるを得ない仕事を持ち帰ってしている実態の把握のための持ち帰り時間も含めた勤務時間記録が絶対に必要である。